

# 志布志市 “志” ツーリズム協議会（志布志市）



## 概要

志布志市“志”ツーリズム協議会では、都市と農村の交流を目的に、地域の活性化と、活動を通じて、志布志市を「いてみたいまち・すんでみたいまち・すんでよかったまち」と思ってもらえるよう、市の活性化のために活動をしている。

活動に対しては、志布志市の助成金を受けながら活動しているが、民泊型教育旅行受入数減少を受け、体験活動への支援と研修の充実を図るため、本事業への取り組みを決めた。

## 取組状況

今年度の活動としては、上記民泊型教育旅行受入関連の活動の外、志布志市内外でのPR出店を定期的に行っている。（平成30年度12回）。

平成29年度に協議会での自主活動の活性化を目的にいちご饅頭「志布志びより」を開発、今年度は「苺アイス」「志バーガー」などがこれに加わり、PR出店での販売と改良を重ねている。

本年は、出店の際の効果的PRのために、のぼり旗とミニのぼり（卓上タイプ）を作成。遠方からのグリーン・ツーリズム体験者だけでなく、近隣の一般市民の方にも協議会活動を周知する手立てとして効果を感じている。

11月14日・15日の日程で実施した「大隅地域の魅力を知ろう in 志布志モニターツアー」では地元の観光ガイドグループに案内を依頼するなどの連携も行った。案内に携わったガイドの方も志布志市の魅力の再発見につながり、こうした地元の人材の掘り起こしも必要と感じている。

また協議会活動を通じて、PTA活動の支援なども行っている。地元の子供たち向けの活動・ピザ作り体験を行ったが、地元の食材をふんだんに使い、子どもからも保護者からも好評を得ることができた。これをきっかけに、さらに活動が広がることを期待している。

## 次年度への展望

グリーン・ツーリズム活動の輪を広げるため、今後各地域での協議会会員募集説明会を計画している。現在の会員よりも若い年齢層向けにサロンを開くなどの方法で、活動の楽しさを伝えたい。

またこれから需要の見込めるインバウンドに関しても研修等を通じて可能性を感じている。自分たちで食材を準備し、自分たちで調理する、自然と食に恵まれた志布志での生活を疑似体験できるような体験が提供できればと思う。

## ここがキラリ☆ 志布志市の取組

グリーン・ツーリズムの中でも民宿開業者でつくる「日和の会」<sup>ひより</sup>など、核となるメンバーでの積極的な活動を継続的に行っている協議会。出店活動の頻度の高さは随一。内向きにも外向きにも、身近にも遠方にも活動対象としてのアンテナを張っていらっしゃる姿勢がモデル的な存在です。